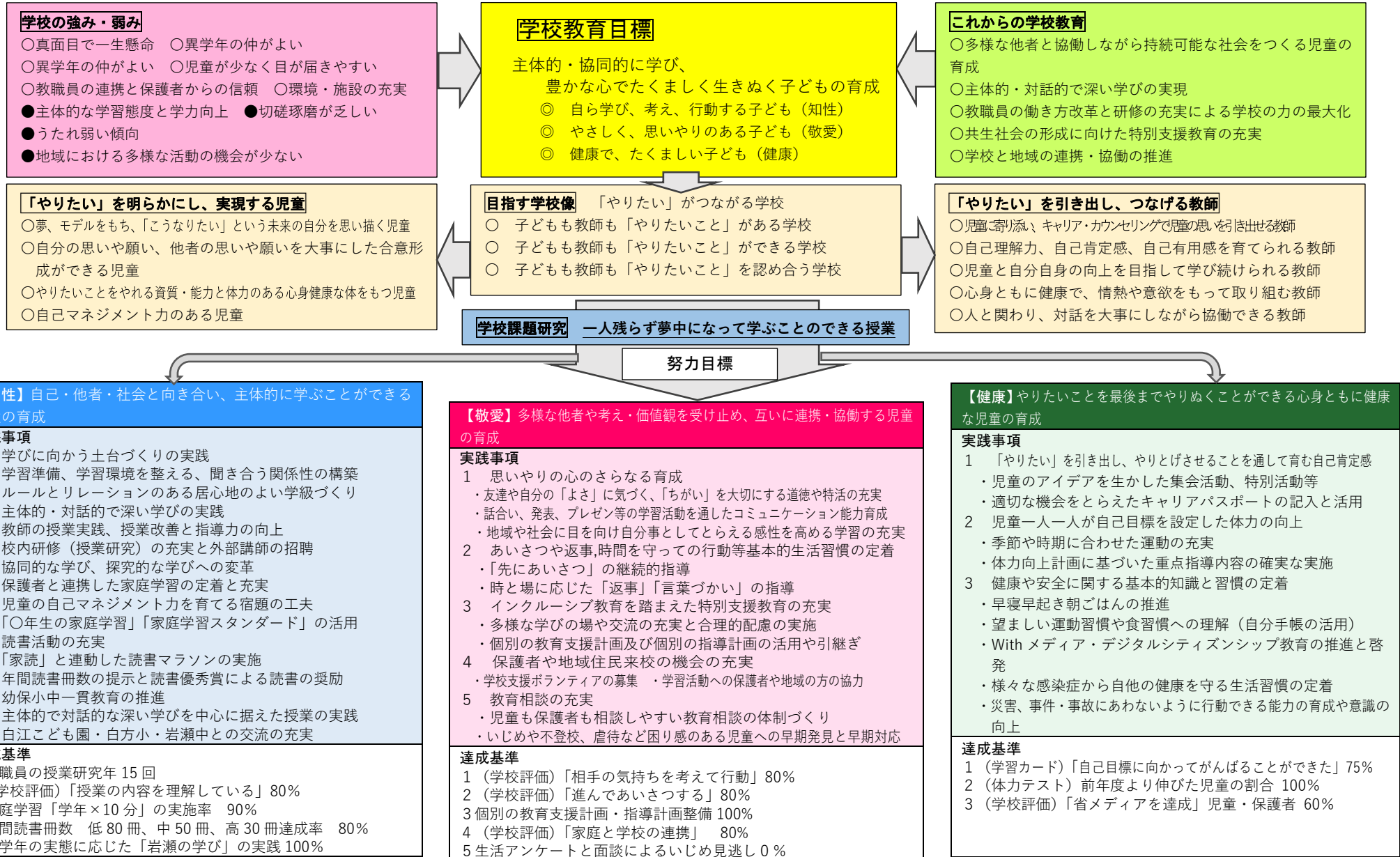


令和7年度 須賀川市立白江小学校 学校経営・運営ビジョン



学校の強み・弱み

- 真面目で一生懸命 ○異学年の仲がよい
- 異学年の仲がよい ○児童が少なく目が届きやすい
- 教職員の連携と保護者からの信頼 ○環境・施設の充実
- 主体的な学習態度と学力向上 ●切磋琢磨が乏しい
- うたれ弱い傾向
- 地域における多様な活動の機会が少ない

学校教育目標

主体的・協同的に学び、豊かな心でたくましく生きぬく子どもの育成

- ◎ 自ら学び、考え、行動する子ども（知性）
- ◎ やさしく、思いやりのある子ども（敬愛）
- ◎ 健康で、たくましい子ども（健康）

これからの学校教育

- 多様な他者と協働しながら持続可能な社会をつくる児童の育成
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 教職員の働き方改革と研修の充実による学校の力の最大化
- 共生社会の形成に向けた特別支援教育の充実
- 学校と地域の連携・協働の推進

「やりたい」を明らかにし、実現する児童

- 夢、モデルをもち、「こうなりたい」という未来の自分を思い描く児童
- 自分の思いや願い、他者の思いや願いを大事にした合意形成ができる児童
- やりたいことをやれる資質・能力と体力のある心身健康な体をもつ児童
- 自己マネジメント力のある児童

目指す学校像 「やりたい」がつながる学校

- 子どもも教師も「やりたいこと」がある学校
- 子どもも教師も「やりたいこと」ができる学校
- 子どもも教師も「やりたいこと」を認め合う学校

「やりたい」を引き出し、つなげる教師

- 児童に寄り添い、キャリア・カウンセリングで児童の思いを引き出せる教師
- 自己理解力、自己肯定感、自己有用感を育てられる教師
- 児童と自分自身の向上を目指して学び続けられる教師
- 心身ともに健康で、情熱や意欲をもって取り組む教師
- 人と関わり、対話を大事にしながら協働できる教師

学校課題研究 一人残らず夢になって学ぶことのできる授業

努力目標

【知性】自己・他者・社会と向き合い、主体的に学ぶことができる児童の育成

実践事項

- 1 学びに向かう土台づくりの実践
 - ・学習準備、学習環境を整える、聞き合う関係性の構築
 - ・ルールとリレーションのある居心地のよい学級づくり
- 2 主体的・対話的で深い学びの実践
 - ・教師の授業実践、授業改善と指導力の向上
 - ・校内研修（授業研究）の充実と外部講師の招聘
 - ・協同的な学び、探究的な学びへの変革
- 3 保護者と連携した家庭学習の定着と充実
 - ・児童の自己マネジメント力を育てる宿題の工夫
 - ・「〇年生の家庭学習」「家庭学習スタンダード」の活用
- 4 読書活動の充実
 - ・「家読」と連動した読書マラソンの実施
 - ・年間読書冊数の提示と読書優秀賞による読書の奨励
- 5 幼保小中一貫教育の推進
 - ・主体的で対話的な深い学びを中心に据えた授業の実践
 - ・白江こども園・白方小・岩瀬中との交流の充実

達成基準

- 1 教職員の授業研究年 15 回
- 2 (学校評価)「授業の内容を理解している」80%
- 3 家庭学習「学年×10分」の実施率 90%
- 4 年間読書冊数 低 80 冊、中 50 冊、高 30 冊達成率 80%
- 5 各学年の実態に応じた「岩瀬の学び」の実践 100%

【敬愛】多様な他者や考え・価値観を受け止め、互いに連携・協働する児童の育成

実践事項

- 1 思いやりの心のさらなる育成
 - ・友達や自分の「よさ」に気づく、「ちがい」を大切にする道徳や特活の充実
 - ・話し合い、発表、プレゼン等の学習活動を通じたコミュニケーション能力育成
 - ・地域や社会に目を向け自分事としてとらえる感性を高める学習の充実
- 2 あいさつや返事、時間を守っての行動等基本的生活習慣の定着
 - ・「先にあいさつ」の継続的指導
 - ・時と場に応じた「返事」「言葉づかい」の指導
- 3 インクルーシブ教育を踏まえた特別支援教育の充実
 - ・多様な学びの場や交流の充実と合理的配慮の実施
 - ・個別的教育支援計画及び個別の指導計画の活用や引継ぎ
- 4 保護者や地域住民来校の機会の充実
 - ・学校支援ボランティアの募集 ・学習活動への保護者や地域の方の協力
- 5 教育相談の充実
 - ・児童も保護者も相談しやすい教育相談の体制づくり
 - ・いじめや不登校、虐待など困り感のある児童への早期発見と早期対応

達成基準

- 1 (学校評価)「相手の気持ちを考えて行動」80%
- 2 (学校評価)「進んであいさつする」80%
- 3 個別的教育支援計画・指導計画整備 100%
- 4 (学校評価)「家庭と学校の連携」80%
- 5 生活アンケートと面談によるいじめ見逃し 0%

【健康】やりたいことを最後までやりぬくことができる心身ともに健康な児童の育成

実践事項

- 1 「やりたい」を引き出し、やりとげさせることを通して育む自己肯定感
 - ・児童のアイデアを生かした集会活動、特別活動等
 - ・適切な機会をとらえたキャリアパスポートの記入と活用
- 2 児童一人一人が自己目標を設定した体力の向上
 - ・季節や時期に合わせた運動の充実
 - ・体力向上計画に基づいた重点指導内容の確実な実施
- 3 健康や安全に関する基本的知識と習慣の定着
 - ・早寝早起き朝ごはんの推進
 - ・望ましい運動習慣や食習慣への理解（自分手帳の活用）
 - ・With メディア・デジタルシティズンシップ教育の推進と啓発
 - ・様々な感染症から自他の健康を守る生活習慣の定着
 - ・災害、事件・事故にあわないように行動できる能力の育成や意識の向上

達成基準

- 1 (学習カード)「自己目標に向かってがんばることができた」75%
- 2 (体力テスト)前年度より伸びた児童の割合 100%
- 3 (学校評価)「省メディアを達成」児童・保護者 60%

実践を支える基盤

<p>児童の安全・安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の充実 ・適切な学校管理 	<p>幼小中連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区共通実践 ・こまめな情報交換と各種合同会議 	<p>地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会の充実 ・総合学習を校とした地域教材の掘り起こし 	<p>保護者との共通理解と協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトや学校だより等での情報発信 ・PTA 活動の推進 	<p>信頼される教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服務倫理の充実 ・風通しの良い職場づくり 	<p>教職員の働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌における業務分担の適正化 ・FCS の活用 	<p>教職員のメンタルヘルス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な職場環境・人間関係づくり ・相談窓口の設置と周知
---	---	---	--	---	---	---